

## 三上院長が掲げる三つの基本理念

いつまでも、自分の歯でおいしく食事がしたい―著しい高齢化時代の到来により、多くの人たちが抱くようになってきた。しかも、歯の健康は、全身の健康づくりとも深く関わることが周知されるようになってきた。当医院は、そうした時代の中の健康管理のお手伝いをしていく。

歯周病治療、予防歯科、インプラント歯科、矯正歯科の四つの専門外来を軸に、診療する当医院。三上院長は「悪くなつてから治す医療(cure)ではなく、悪くならないよう予防する医療(care)」をモットーに掲げる。

さらに当医院は、生涯にわたって自分の歯で生活していただくために、三つの基本理念を掲げる。①整った歯並びでバランスの取れた噛み合わせをつくる②歯周病を寄せ付けない、口の中の環境整備③就寝時の歯ぎしりから歯を守る。

「人生100歳まで」を新しい基準にした、予防歯科に力を注いでいる三上院長。この三つの基本理念を実践すれ

## 適切なケアで予防できる歯周病

大学卒業後、約10年間歯周病の医局に残り、歯周病で博士号を取得した院長。日本歯周病学会専門医の目線で全ての歯科治療を構築してきた。「研究成果により虫歯も歯周病も細菌による感染症であることが分かってきた」という。

歯周病を寄せ付けないためには、歯周ポケットを浅く保つよう、適切な歯磨き習慣などでプラークコントロールしなければならぬ。外来では、合計7人在籍する歯科衛生士が優しく子供さんたちの予防指導に当たる。小児期から虫歯のない清潔な口腔環境をつくるのが重要だ。

一方、眠っている間、歯に非常に大きな力がかかることはあまり知られていない。寝返りを打ったり、うつぶせになったりするたびに頭の重みが歯にも加わる。さらに、ノンレム睡眠時に無意識のうちに歯ぎしりが行われる。歯の形が変わったり、歯が浮くような痛みが出たりして歯肉が腫れるような場合は、歯ぎ

ば、100歳まで自分の歯で食べ続けることが十分に可能であり、「噛む力を適度にコントロールし、食後の口腔内の清掃・管理を適切に行うことで、ご自身の大切な歯を長持ちさせることができます」とアドバイスする。

当医院は2016年度、厚生労働省の「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」に認定された。歯周病の予防と治療をはじめとする在宅歯科診療(往診)を保険診療で行っており、「地域密着型の歯科ケアが可能になりました」と語る院長。より身近な「かかりつけ歯科医」として地域包括ケアの一翼を担う。



親身になって治療に携わるスタッフ

しりサインの現われ。歯や肉の病気の根源は、歯ぎしりにあると言われるほどだ。

歯ぎしり対策に有効なのが「スプリント」と呼ばれるマウスピース。これを就寝中に使うことで、歯や歯肉を歯ぎしりから守ることができ、病院で薬を処方するのと同じように、カスタムメイドのスプリントが処方される。

口の中の清潔を維持するために、正しい生活習慣を。院長が監修し、大手メーカー、ライオンが開発した歯ブラシ、歯磨き剤、洗口液を日常的に使用すれば、さらに効果が期待できそうだ。



2013年9月に発売された「システムSP-Tシリーズ」

## 安全で信頼できるインプラント治療

バランスの取れた噛み合わせをつくるには、上下28本の歯全体が左右対称に並んでいることが大切だ。歯には、前歯、奥歯とそれぞれの役割があることから、仮に1本でも欠損すれば噛み合わせが悪くなり、どこかに無理がかかる。それを補うのが義歯、ブリッジ、インプラントといった治療法だ。見た目にも、実際の使用感ともに、天然の歯に最も近いインプラントは、とても優れた適切なケアを受けることで長期的にも安全に使用することができる。

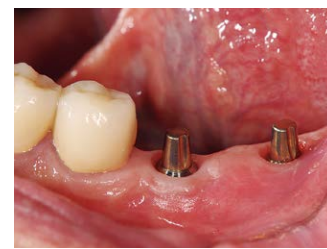
当医院が採用しているのは、スイスの名門ストローマン社製。インプラントは、あごの骨にチタン製の人工歯根を埋め込み、その上に冠をかぶせる。生体組織に親和性の高い高品質な素材が求められるが、日本口腔インプラント学会専門医の立場からも、世界中で信頼される同社製品は自信を持って薦められるという。

インプラント治療にも、歯周病専門医としての視点から取り組んでいる。単にインプラントを入れる治療にとどまら

ず、インプラントを入れたことで他の残っている歯を安定させて持続するための「歯を保護するインプラント治療」の考え方が本質」とする院長。また、術後の手入れも欠かせないという。「車は車検やオイル交換など定期的なメンテナンスをするので長持ちします。インプラントを長持ちさせるためには、お車同様にメンテナンスが重要になります。定期的な検診をお約束させていただきます。よろしくお願いいたします。」



インプラント治療後



インプラント治療前

## 人間関係を重視した矯正治療

歯が本来あるべき位置に正しく並び、バランスの取れた噛み合わせを日常的に実現することが、歯の健康づくりの基本となる。見た目の美しさのみならず、全身の健康にも関わるだけに、矯正治療の重要性は高まっている。

小臼歯と呼ばれる4本の歯を抜いて歯並びを整える治療法が一般的だが、当医院は「歯を抜かない矯正治療」を実践しているのが特長だ。幼少期に抜歯することで成人後に発生する歯の欠損や歯周病にもなりやすいリスク、さらに噛み合わせの力を分散できないマイナス面も考え合わせれば、歯を抜かずに治療する手法の優位性が大きいと考えられるためだ。

包括医療の一環として、歯科衛生士の定期検診による小児期からアプローチする「育成矯正」を行い、患者さんの成長を長い目で見守りながら、コミュニケーションを大切にしながら治療を行っている。矯正治療は、あごの成長に合わせた歯の移動と骨の再生を同時に行います。仕上がったとき、

抜かずに歯並びを良くしたことに最大の喜びを感じられますよ」と副院長は語る。

矯正装置も大きく進歩した。従来はワイヤーでできた装置が主流だったが、マウスピース型の「インビザライン」が登場し、注目を集めている。透明で目立たず、周囲の人目もあまり気にならない。また、食事などに取り外すことができ、歯磨きも容易だ。美観性だけでなく、機能面や衛生面でもメリットが大きい。希望に応じて処方することができる。



インビザラインによる治療中の様子



矯正治療を受ける前



歯学博士・歯周病専門医 院長 三上 格

苫小牧市出身。1983年日本歯科大学新潟歯学部歯周治療学教室助手。90年歯学博士号取得(歯周病学)。歯周治療学教室講師(現在も非常勤講師)。2003年ハーバード大学ITIインプラントコース修了。日本歯周病学会専門医、日本口腔インプラント学会専門医・指導医、日本顎咬合学会認定医、日本臨床歯周病学会会員、ITIフェロー。



副院長 三上 睦子

栃木県日光市出身。1984年日本歯科大学新潟生命歯学部矯正学教室。1993年グリーンフィールド博士非抜歯矯正コース修了。日本矯正歯科学会会員、日本非抜歯矯正研究会会員。

歯科・小児歯科・矯正歯科

医療法人社団

みかみ歯科矯正歯科医院

苫小牧市旭町4丁目7番20号 ☎(0144)35-3939

ホームページ <http://www.mikami-dc.com/>

診療時間  
月・火・水・金 / 9:30~12:30 14:30~18:30  
木・土 / 9:30~12:30  
(水・午後インプラント、予防、歯周病外来)  
休診日 / 日・祝日

